

民意の勝利だ！

沖縄の知事選においては最も多い39万票を獲得した玉城デニーさんの勝利、2月の県民投票では新基地建設反対が43万人余りの人びとの明確な意思表示がありました。今回の衆議院補選はこうした民意を背景にした選挙になりました。



座り込みが続くキャンプ・シュワブゲート前

結果は、17728票の大差で屋良朝博さんが勝利しました。沖縄県民の民意はぶれませんでした。

この民意は無党派層の動向ではっきりと二分されました。屋良さんに投票した無党派の人びとは80%で、政権側の候補には20%余りでした。基地問題を重視して投票した県民は87%余りとなっているとの分析結果が報道されています。政権側の候補者は新基地建設を容認する公約で闘い敗北しました。安倍政権は民意に基づいて基地建設を断念すべきです。

沖縄県民の民意を無視し続けてい新基地建設を強行するということは民主主義、地方自治を否定する暴挙であると言えます。4月26日の朝刊で、新基地建設の中止を求める弁護士や作家有志のみなさん291人が声明を発表したとの報道があります。建設反対の声は拡大しています。

安倍政権は、沖縄県内の選挙戦で凄まじい戦いを展開します。なかでも嘉手納基地、普天間基地、海軍ホワイト・ビーチ基地、名護市のキャンプ・シュワブなどが存在する市町選挙では、官房長官を指揮官に派遣し、再編交付金等を直接投入しての猛烈な選挙戦が展開されます。米軍

基地の撤退・撤去を求める候補者に絶対に負けるなど異様な選挙になります。沖縄県外から来てこの選挙の実態に触れると、選挙法も民主主義も地方自治も否定された選挙という思いがします。違反ポスター、怪文書が飛び交います。不思議なことに逮捕者はありません。

補選の結果から次のことを政権側に求めたいと思います。

①選挙で示された民意を尊重して、新基地建設はただちに断念すべきだ。

②世界、日本、沖縄県民が強く望んでいる辺野古・大浦湾の自然を破壊するな！これまでに埋めたてた辺野古の海を元に戻せ。

③この海域に活断層の存在することを専門家が指摘している。埋め立て海域の80%は軟弱地盤であり基地には適していないことは証明されている。ただちに断念すべきだ。

④4月13日にキャンプ・シュワブ所属の海兵隊による女性殺人事件がありました。犯人は自殺したとの報道であるが、到底許すことはできない。県民は恐怖と怒りをあらわにしています。事件のたびに日米地位協定の壁が立ちふさがります。解決しません。安倍政権にたいして、米軍を沖縄から撤退、基地撤去を求めて米軍と交渉しろと言いたい。せめて米軍基地が70%も集中している沖縄の現状を変える具体策を早急に示せ。

⑤2016年12月13日の名護市安部の海外にオスプレイが墜落、2017年10月11日には東村高江の民有地にCH53Eヘリが不時着炎上、2018年11月13日那覇市東南東約290kmの海上にFA18戦闘機が墜落するなど事故が多発している。原因究明のないまま訓練飛行を再開させるな。

県民の命を全く考えず、米軍に抗議しない政府に県民は怒っています。

こうした米軍への従属を続ける安倍政権の責任を厳しく追及しよう！夏の参院選は安倍打倒のチャンスだ！全力で選挙戦を闘おう！